

# 北浦村報

第 17 号

発行所 北浦村大字山田  
北浦村役場  
発行人 真家襄之  
印刷所 石崎印刷株式会社  
電話(鈴田)一四八番

## 北浦村議会 臨時会

二月二十七日

当日会議に付された事件はつぎのとおりである。

議案才一号 北浦村新村建設計画の議決について  
(原案可決)

議案才二号 北浦村農業委員会の選挙による委員定数条例の改正について  
(原案可決決定数二十名)

議案才三号 北浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について  
(小貫 原正夫氏再任)

議案才四号 北浦村危険物取締条例について  
(原案可決)

### 貯蓄で明るい家庭

楽しい夢の実現にも、思いがけない災難にも、かならず役に立つのが貯蓄です。貯金の大事なことは、山内一豊の時代の昔も、オートメーションの時代もかわりありません。「備いあれば憂なし」貯蓄で明るい家庭をつくり、日本の産業を起しましょう。

一般選挙はつぎのとおり行われるが委員定数条例の変更により選挙委員は二十名となつた。

- ◎選挙告示 三月七日
- ◎立候補受付 三月十日まで
- ◎投票日 三月十四日
- ◎午前七時より午後六時まで

## 農業委員会委員の選挙は

### 三月十四日執行

北浦村農業委員会委員の任期満了(三月三十一日)による

- ◎投票所は 津登公民館
- 要地区 要公民館
- 小貫地区 小貫小学校
- 両宿、内宿 武田公民館
- 長野江、次木 三和小学校
- 成田、三和 三和小学校

## 投票は結婚する気持で

影山三郎

結婚は選挙で一票を投ずるようなものだ。もつとも結婚の方は、何年かたてば改選できるといふ取りきめになつていない。それでもこのごろは離婚してたびたび改選するものも少なくないらしい。自分の選んだ議員が百年の不作だと気づいたら、改選期に離婚しても、だれにも文句の言わ

サイレン吹鳴時間のお知らせ  
当分のあいだつぎのとおり吹鳴いたしております

朝	午前	五時〇分
ひる	午前	十一時〇分
夕	午後	四時〇分

## ●今月の税金

今月(二月)は保険税第四期の納期です  
納期限内に完納いたしましょう  
公民館出張徴収は二十七日と二十八日の二日間です

火事を出さねば  
「こだまが」  
一二〇編成も

全国の家庭でもよつと注意し毎日一分間ずつ電気(一〇〇W)とガスを節約すれば、一年間ではこの電力で特急つばめを、東京・大阪間に一、一五五回、ガスを作る石炭で国鉄の全国の列車を六〇日間走らせることができる。

## 化蘇沼稻荷神社



三十二年中の火災による損害は推算二五八億円といわれるが、これで作れば一戸五〇万円として五万戸、特急「こだま」では一二〇編成、「東京タワー」では一二本も作ることができる。二、三月は例年大きな火災の起りやすい月でもあるから火の元には充分注意して「誰も得をしないでみんなが損をする」ようなムダを省くようにしたいものである。



けんたい期などといつて、どもつて、その人の名を投票用紙に書くようにならないものだろうか。日本の政治に自分の意思を反映させるための、たつた一人の自分の配偶者を決めるのである。

## 二月定例区長会

北浦村区長会定例会議は二月二十日役場において開催され農業委員の定数改正の説明予定  
その他がある

## 大火シーズン来る

二月から五月にかけては地域的に空気が極度に乾き、これに加えて強い季節風が吹くことがあり、チヨツト消火がおくると大火になります。天気予報によく注意し、このような悪い条件が重なる時は屋外での火の取扱いやたき

## これから多い

### 家庭をねらうサギ

犯罪は年じゆさまさまな形が多く発生します。季節によつて芽を吹きだす犯罪もありその季節になるとぐんとふえます。人をだまして金品を取るサギ犯罪もその一つで、例年二月ごろになると金づまりの月といわれるように、経済界が一般に沈滞しがちのためそれにつれてサギ犯罪にふみはずすものが多くなるといわれていますが、ナベ底景気といわれる折でもあり、ことしもこのような犯罪が増加するおそれがあります。

☆冗談じゃありません  
「こっちの身にもなってください」



もうけ話やうま過ぎる話のらないことです。

- 1 もつともらしい口上でうまくだましにかかると、見知らぬ人や顔見知りでも
- 2 名をかたつたりする例が多いから、おかしい点があつたら身分証明書を見せてもらうなり、勤め先の主人に問い合せてみることも必要です。
- 3 行商人の物を買うときは中味や品物を良くぎんみすること、二月、三月はとくに生地や毛糸の粗悪品が多いものです。
- 4 もし被害にかかつたら、被害の状況と相手の人相、服装、コトバのなまりなど特徴を早く警察に届け、犯人の検挙にご協力ください

新入学児を  
もつ家庭では  
今春四月に入学の適令児をもつ家庭ではそろそろ身の回りの仕度とともに、子どもがおびえたり、まごついたりしないよう適当なしつけをしておきましょう。ただ親の欲目から入学前に文字や数の計算をむりにつめこもうとしないであくまで子どもの興味を土台に少しづつ指導しましょう

